

第 2 班

1. タイトル：最大のリソース「人財」活用による組織活性化策
2. 報告書の概要：地方公共団体を取り巻く現状は、①社会情勢・経済情勢の変化、②人員削減及び再任用制度から定年延長へ、③地方分権の推進、④組織のフラット化及び職員の年齢構成、と捉え、そこから生じる課題として、①真に必要な人財の確保、②再任用職員の活用方法、③地方分権推進で求められる職員の能力、④モラトリアム 職員へ繋がる懸念、⑤部下育成の経験不足、の5点に整理をし、次のような仮説を立てた。

「OJT」を組織マネジメントの中心と据え、全ての職員が「人財育成」を常に意識することで組織全体で人を育む意識が生まれ、ひいては組織の活性化に繋がるのではないか。

そこで、次の3つの柱からなる「トータルOJT」の導入を提言した。

 - ① OJTシステムの構築
 - ② 再任用職員の積極的な活用
 - ③ 研修と昇任試験の連動

3. 引用している事例：①豊田市（トータル人事システム～プロ人材の確保・育成をめざす行動計画）、②トヨタ自動車株式会社（教え、教えられる社風～職場におけるOJT)
4. アンケート調査の有無：有